



令和8年1月21日
海上保安庁

令和7年の密輸・密航等取締り状況について(速報値)

～初の2年連続の1トン超押収！密輸の大口化・巧妙化に警戒～

令和7年は、海上経由の密輸としては統計史上最大の押収量となった大麻密輸入事件、パラサイト型[※]によるコカイン密輸入事件など複数の密輸事犯を摘発し、初めて2年連続で1トンを超える薬物を押収しました。海上薬物密輸は密輸量の大口化、手法の巧妙化が進んでおり、海外犯罪組織の関与も疑われるところ、引き続き、水際阻止の取組を強力に推進してまいります。

※パラサイト型密輸：出発港から到着港の間で、船舶の船底部海水取入口等の水面下に薬物を隠匿し、これを回収する手法。我が国においてはこれまで2例が確認されている。

1. 密輸・密航の取締り状況

令和7年に当庁が摘発した（関係機関と合同で摘発したものを含む）薬物密輸事犯は12件（前年比同じ）であり、内訳は以下のとおりです。

- ① コカイン2件（合計約20kg（末端密売価格約4.7億円相当））
- ② 大麻5件（合計約1トン（末端密売価格約52億円相当））
- ③ ケタミン3件（合計約7g）
- ④ 覚醒剤2件（合計4.6kg（末端密売価格約2.6億円相当））

令和7年に当庁が摘発した密航事犯は2件（前年同数）であり、摘発人数については、不法上陸者1名、不正上陸者1名でした。

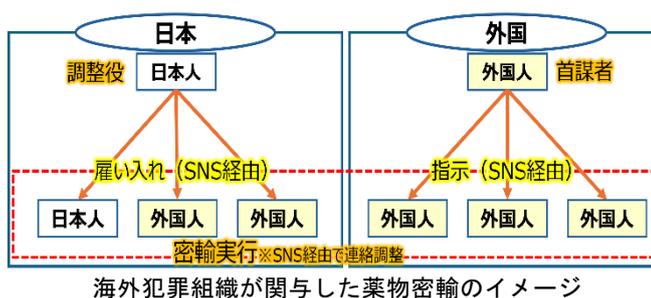
2. 近年の傾向及び今後の取組

(1) 近年の傾向

近年の我が国における違法薬物の情勢は、薬物事犯検挙者数が年間一万人を超え、特に若年層の大麻の乱用が深刻となっていることから、潜在的な需要への供給を遮断することが課題となります。

海上保安庁が摘発した薬物密輸入事犯のほとんどは、外国人による犯行であることが確認されており、海外犯罪組織の関与も疑われています。

これら外国人による薬物密輸は、SNS等のサイバー空間を經由して海外の犯罪組織から指示を受けた互いに面識のない、いわゆる「匿名・流動型犯罪グループ（トクリュウ）」と推定されている



ほか、一度に大量の薬物を密輸する海上貨物への隠匿による手法、瀬取りによる手法や、パラサイト型密輸と称される巧妙な手法など、密輸手口の大口・巧妙化の傾向が益々高まっており、これらの犯罪形態への対策が求められています。

密航事犯については、貨物船等の船員による不法上陸、訪日クルーズ船の乗客による不正上陸等、小口・多様化の傾向にあります。また、訪日クルーズ船の乗客が観光上陸許可期間を超えて不正に上陸し、そのまま行方をくらます不法滞在等も発生しており、警戒が必要です。

(2) 今後の取組

海上保安庁では、薬物をはじめとした密輸や密航への水際対策に万全を期するため、引き続き我が国に来航する外国籍船舶に対する重点的な立入検査、監視等に加え、次の取組を実施することで、国際組織犯罪の取締りを強化してまいります。

- ① 警察、税関などの国内関係機関との合同捜査を通じた実務的な連携の強化、取締りの推進
- ② 外国関係機関との、情報交換や研修を通じた国際連携の強化
- ③ 国際サイバー捜査企画調整官（仮称）を中心とした、サイバー空間を利用した薬物密輸犯罪への対応強化

◆詳細は「別添」をご参照ください。

過去5年間の密輸事犯等の摘発状況（速報値）

1. 薬物事犯の摘発状況

区分		年別				
		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
摘発件数（件）		11	6	11	12	12
押 収 量	覚醒剤	644.18g	11.96kg	749.34kg	1042.89kg	4.62kg (1件鑑定中)
	大麻	16.17g	300.56kg	62.53g	8.70g	1046.88kg
	コカイン	2.00kg	0	847.20g	225.19kg	19.96kg
	ケタミン	0	0	0	0	7.48g (1件鑑定中)
	あへん	0	0	0	0	0
	指定薬物	0	0	0.73g	0	0

※ 表の数値は、関係機関と合同で摘発したものを含む。

2. 銃器事犯の摘発状況

区分		年別				
		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
摘発件数（件）		0	0	1	0	2
押	銃砲（丁）	0	0	0	0	0
	拳銃（丁）	0	0	0	0	0
収	準空気銃等（丁） ※模造拳銃を含む	0	0	0	0	0
量	実包（発）	0	0	0	0	185

※ 表の数値は、関係機関と合同で摘発したものを含む。

3. 金地金の摘発状況

区分		年別				
		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
摘発件数（件）		0	0	2	1	0
押収量		0	0	45.99kg	40kg	0

※ 表の数値は、関係機関と共同で摘発したものを含む。

過去5年間の密航事犯の摘発状況（速報値）

1. 船舶を利用した密航事犯の摘発状況

区分 \ 年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
摘発件数（件）	5	1	1	2	2
罪種別（人）	8	1	1	2	2
不法入国・上陸者	8	1	1	0	2
不法入国・上陸手引者	0	0	0	0	0
不法出国者 （企図者を含む）	0	0	0	2	0
不法出国手引者	0	0	0	0	0

※ 表の数値は、関係機関と合同で摘発したものを含む。

2. 船舶を利用した密航者（国籍別）の摘発状況

国籍 \ 年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
中国（人）	1	0	0	0	0
韓国（人）	0	0	0	0	0
ベトナム（人）	5	1	0	0	1
ロシア（人）	2	0	1	0	0
日本（人）	0	0	0	0	0
その他（人）	0	0	0	2	1
合計（人）	8	1	1	2	2

※ 表の数値は、関係機関と合同で摘発したものを含む。

近年の主な薬物密輸事犯の推移

従前



船員による持ち込み（小口密輸）



日本人（暴力団等）を主体とした犯行

薬物密輸入手法の大口化・巧妙化のほか、
外国人主体の犯行も確認

近年



○洋上落とし込みによるコカイン密輸入（R6.5）

- ・コンテナ船からの洋上落とし込みにより覚醒剤（約178 kg）を密輸
- ・逮捕8名、うち外国人5名



○メキシコ来コンテナ貨物隠匿覚醒剤密輸入（R6.5）

- ・コンテナ貨物底部に覚醒剤（約531.8 kg）を隠匿
- ・逮捕11名、うち外国人4名



○メキシコ来海上貨物覚醒剤密輸入（R6.10）

- ・海上貨物内部に覚醒剤（約156.6 kg）を隠匿
- ・外国人3名を逮捕



○ベトナム来海上貨物隠匿大量大麻密輸入（R7.7）

- ・コンテナ貨物内部に大麻（約1トン）を隠匿
- ・外国人3名を逮捕
（詳細は次頁参照）



○外国貨物船パラサイト型コカイン密輸入（R7.11）

- ・船底内にコカイン（約20kg）を隠匿
- ・逮捕4名、うち外国人3名
（詳細は次頁参照）

昨年の主な密輸事犯

【事件名】外国貨物船パラサイト型コカイン密輸入事件 (静岡県清水市)

令和7年7月10日、清水海上保安部は、関係機関と合同で、清水港において着岸中の外国貨物船の潜水検索を行い、同船船底部海水取入れ口からコカイン約20キログラム（末端価格5億円相当）を発見、押収しました。

この事件で、同年11月12日までにパラサイト型コカイン密輸入を企てた外国人3名を含む被疑者4名を麻薬及び向精神薬取締法違反（営利目的輸入未遂）の疑いで逮捕しました。



【事件名】ベトナム来海上貨物隠匿大量大麻密輸入事件 (栃木県)

第三管区海上保安本部は、関係機関と合同で、海上コンテナを用いて大麻約1トン（末端価格52億円相当）を本邦に輸入したとして、令和7年7月16日までに、麻薬及び向精神薬取締法違反（営利目的輸入、営利目的所持）の疑いで、ベトナム人3名を逮捕しました。



押収された大量の大麻（押収量約1トン）

昨年の主な密航事犯

【事件名】大分港パナマ籍貨物船T号ベトナム人船員不正上陸事件 (大分県大分市)

令和7年6月30日、大分海上保安部は、大分市大分港に入港したパナマ共和国籍貨物船から不正上陸したベトナム人船員1名を出入国管理及び難民認定法違反の疑いで逮捕しました。



不正上陸したベトナム人船員が乗船していた貨物船